

藤枝市中心市街地活性化協議会 会議録

会議名	平成23年度第2回藤枝市中心市街地活性化協議会
日時	平成24年3月6日（火） 10:00～11:30
場所	藤枝商工会議所 4Fホール
出席者	<p>会長 小林正敏 副会長 渡辺哲朗 委員 桜井幹夫、佐野 均、朝比奈利幸、秋山和久、安藤房己、秋原恭大、 家本 勲、松村英行、松尾敏郎、吉野泰史、井田久義、渡部實和（代理）、 尾針周一（代理）、仲田芳明（代理）、阿井誠（代理） 委任状出席 鈴木福一、渡邊芳隆</p> <p>オブザーバー 静岡県商業まちづくり室 主事 斉藤元気 " 都市計画課 主任 丸山幸治 藤枝警察署 地域課 係長 堀川順子</p> <p>（藤枝市） 藤枝市中心市街地活性化推進室 室長 秋田弘武 " 主幹 小西裕充 " 主任主査 津島さおり 藤枝市産業政策課 課長 相馬 学 商業観光課 係長 紅林 豊 主任主査 青嶋和徳 （藤枝商工会議所） 事務局長 杉浦 衛 課長 小口章治 課長補佐 八木弘行</p>
会内 議容	<p>1. 協議事項 ① 藤枝市中心市街地活性化基本計画事業の一部変更について</p> <p>1. 報告事項 ① 藤枝市中心市街地活性化基本計画事業の進捗状況について ② 藤枝市中心市街地活性化基本計画の検証と次期計画の方針について</p> <p>1. 意見交換</p>

小口課長の進行により開会。

小林会長の挨拶後、本日の協議会が成立していることを告げ、会議の議長を協議会規約に基づき小林会長に依頼し、会議に入った。

協議事項 ①藤枝市中心市街地活性化基本計画事業の一部変更について

藤枝市中心市街地活性化推進室 秋田室長・小西主幹より、別添資料に基づき特別交付税への位置づけとするもの、事業名の変更、実施時期の変更など12項目について説明が行われた。

小林会長より、質問・意見等を求めたところ、特に異議なく、拍手を以て承認された。

報告事項 ①藤枝市中心市街地活性化基本計画事業の進捗状況について

②藤枝市中心市街地活性化基本計画の検証と次期計画の方針について

藤枝市中心市街地活性化推進室 秋田室長・小西主幹より、現計画が平成25年3月で終了することから、これまでの取り組みの進捗・検証を踏まえ、「志太・榛原の核づくり」「生活支援機能の強化」「まちづくり通した環境貢献」の3つの方針を掲げた次期計画の策定方針と体制・スケジュールについて別添資料に基づき説明が行われた。

引き続き、意見交換に入りご質問やご意見を伺った。

(安藤委員)

藤枝市文化センターの耐震工事が終了し、今市営駐車場が改装中で駅前・駅北の開発も計画されているが、文化センター周辺の開発を優先的に取組んでいただくよう基本計画に組み込んで頂きたい。

(秋田市中心市街地活性化推進室長)

市としても駅前・駅北地区を重点地区として再生計画の中に位置づけ、文化センター地区の開発については、商工会議所・まちづくり藤枝・市で研究組織を作り、検討している。方向性としては、箱ものを作るのではなく、どう活用するか新しい使い方を考え、必要な機能を検討している。新年度も引き続き検討を進め、具体的にできれば整備することを考えていきたい。

(仲田委員)

計画では、中心市街地を志太榛原の顔として考えているが、駅南地域の用途地域が近隣商業地域となっているため大規模施設が立地しにくい状況で固定資産税収入を増加させる面でも商業地域にしてほしいと思っているが、考えをお聞かせいただきたい。また、駅南商店街では、今年度事業として市の協力を頂いて「かけこみ110番」を実施しているが駅南地区の犯罪件数は、減少したかどうか。後日でもかまわないので教えていただきたい。

(佐野都市建設部長)

用途地域は、県との協議が必要だが、駅南には順心高校が近くにあることから、文教地区となっているため商業地域の許可が出ない。仮に全地区を商業地域とした場合、土地の評価があがり、一般の住宅地にも影響が出てくることが考えられる。

土地利用を活用するという事の中に、地区計画制度というものがある。スポット的に建物の建ぺい率・容積率の緩和措置が出来る制度である。

都市計画は地元の合意形成の上で決定されるので、どこをどのようにしたいかと併せ、地元のコンセンサスが必要である。

(堀川：藤枝警察署地域係長)

駅南に限定した資料を持ち合わせていないので、今、お答えができないが、必要ならば改めて資料をお分けする。

(秋田中心市街地活性化推進室長)

資料の中に警察署から提供頂いた資料があるので参考にさせていただきたい。駅前交番管内も減少傾向にあるものの市全体での減少に比べると緩やかであるため駅前交番の全体に占める割合は多くなっている。そのような事から体感治安として犯罪が減っていない・多くなっているという印象をもたれているようである。

市民アンケートの結果でも、風俗店が増えている、青少年の蟻集が目立ち、など市民の感覚的な不安を抱かせているのではないかと分析している。

(井田委員)

全体的に、人口も増加し、この計画の事業が順調に推移しているという印象を受けているが、反面、商店街の衰退とか空洞化の進行、社会的弱者への対応といった影の部分が見受けられる。少子高齢化社会の中でこの事業が進めば進むほど影の部分が大きくなっていくように感ずる。犯罪とか防災も含め、影の部分も併せて協議していかないと本当の活性化にはならないと思うがどう考えるか。

(秋田中心市街地活性化推進室長)

この基本計画事業で効果が出ている部分と課題が出ているのは確かだ報告したとおりである。

今後の考え方として、中心市街地のコンパクトシティの視点から少子高齢化への対応である「誰もが歩いて暮らせるまちづくり」は、藤枝市のみならず国を上げての流れがあるものの街なか居住という認識は市民全体レベルではまだ低い中で、現実にはマンション立地が進み、住む人が増えている。そういう状況の中で生活を支える質の部分をもっと高めて行く必要がある、今回、提起している「生活の支援機能」を充足していくことによって安心して住める、あるいは街なかに来ていただくことによって街全体を活性化につなげていけるよう施策を考えていかなければならないと考えている。

(井田委員)

活性化だけが突出して歩いていくのではなく、社会的な弱者についても同時に考えて行かなければ本当の意味の活性化にはならないと思っている。その辺の事を十分考えていただきながら本事業を推進していただきたい。

(桜井副市長)

陽の当たる部分と当たらない部分の課題があるが、街全体をバランスよく進展させなくてはいけないと考えている。特に、防犯・防災の問題、福祉について、駅周辺が1つのモデルになるような取組みをしていかなければならないと思っている。例えば、街全体あるいは地域で独居老人を見守るようなシステムを構築していかなければならない。ハードとソフトの両方を取り組む必要がある、特にソフト面では、マンションが多く出来て地域コミュニティが疎遠になると危惧しているが、その事は、自治会・町内会がしっかり支えていくというシステムを構築していかなければならないが、具体的にはまだ明確になってはいないが、重要な事としてご提案・ご意見をいただきたいと考えている。

(秋山専務理事)

ご説明があったように次期計画の策定に向け、タイトなスケジュールになっている。年内に4回、年度内には5回協議会を開催する計画で、4月からは策定部会・推進協議会を立上げ事務レベルの作業に入っていくので、第2期の計画策定がスムーズに取り組めるよう皆様のご協力をお願いしたい。

2期目の計画は、1期目の計画の積み残したもののだけでは内閣府は認定しないと聞いている。目標数値もそのままの数値でよいのかなど事務レベルでもつめて国の認定がもらえるようにしていただきたい。

(家本委員)

駅北地区の人口や歩行者通行量が鈍っている。駅前は、バリアフリー化を実施したが、日の出町や富士見町での計画についてお聞きしたい。

また、お年寄りや若い人も津波の事や原発への不安を持っている。焼津から藤枝へ転居する人が増えているとか、子供を公園で遊ばせておいて大丈夫か、というような声も聞かれるので公園や人が集まるような場所に海拔の表示をしていただけるかお聞きしたい。

(秋田中心市街地活性化推進室長)

バリアフリー化については、本計画の中でも駅前通り、文化センター前通り市民体育館前から駅方面に向かう道路などが盛り込まれ整備されている。

また、本計画以前からバリアフリー計画に基づいて、特定道路から順次整備している。まだまだ部分的です。今後ともバリアフリー化の検討をしながら県道もあるため県にも要望しながら順次出来る所から進めて行く。

海拔の表示については、中心市街地にとどまらず全市的な課題と思っており、担当課でも防災については、様々な安全対策を検討しているので伝える。

(吉野委員)

前島地区は、10年前に比べ世帯数が40%増加したが、アパートやマンションの住人が60%おり、地域のコミュニケーションをとるのが難しくなっていることからアパートやマンションの住人を巻き込んで県の武道館を利用して運動会を計画している。駅南に四川飯店が計画されているが、BiViの中には空店舗が目立つ、入店しても1年くらいで退店してしまい、魅力ある店舗が少ないためお客の数も少ない。管理会社も苦勞しているようである。逆にアピタは増えている。BiViに魅力ある店が入って活性化が図られればと願っている。駅南は、コミュニケーションが取りづらい地域だが何とか活性化につなげたい。

先ほど、駅南の犯罪件数の質問が出たが、私は、駅南交番の地域安全推進員をしているため状況を言うと、1年前は、駅南交番管内の犯罪が全市の40%を占めていたが、昨年は、大分減ってきている。内訳は、自転車の盗難や車上狙いが多い。

(秋田中心市街地活性化推進室長)

人口が増える事に伴う地域のコミュニティの問題は、今回の検証作業においての自治会長等とのヒアリングの中でも問題意識として感じている。

今後の生活支援の充実には、コミュニティ問題や地域のつながりを作っていくという事は非常に大切な事だと思っているので、それらに関連する施策も行政として、ご提案頂ければ計画の中に位置づけていきたいと考えている。

BiViの関係は、苦戦をしている面が見受けられ、単に一大型店の問題というよりも地域の課題として捉えている。アピタ、オーレ藤枝などと一体となり、商店街と連携して1つのショッピングモールとしての企画や事業があってもよいと思っている。てーしゃばストリートもまちづくり会社と共に始めさせて頂いた。そうしたものに多くの人がご参加いただき工夫を重ねて、駅南全体が一つのモールとして捉えられればと考えている。この事業にもさらにご提案頂ければと考えている。

(尾針委員)

観光協会として藤枝市の観光素材の掘り起こし、地域の活性化や誘客活動のお手伝いをさせていただいており、観光の側面から基本計画に様々な要素をとり入れていただいたいと考えている。というのも今年は、以前に比べ首都圏・中京圏・遠隔地からの観

光の企画が増え、県外のお客様の目に触れる都市になってきている。現に1～3月まで中京圏では1社で7,000人規模の観光の企画がなされ、桜まつりにも1,200人、藤まつりにも3,000人規模の企画がある。併せて、海外の目にも触れるようになってきており、台湾の学生が朝比奈に180人、5月にも海外からの視察は、韓国・台湾・ヨーロッパからも来る予定である。観光は、いろんなところに関連しているので是非、安心・安全、環境・景観の面からもご協力よろしくお願ひしたい。

(小林議長)

皆様からいろいろなご意見をいただいているが、部会や事業主体などもあり、この場以外にいろいろな会議で出たことはどこに集約したら良いのか？

(秋田中心市街地活性化推進室長)

資料の中に策定の推進体制がある。協議会を中心に各事業主体にご参加いただき、事業提案いただいたものを纏めていきたいと考えている。各事業主体は、今年度から協議会に位置づけられ、駅前総合再生会議や駅北地区活性化連絡会議、てーしゃばストリート実行委員会などで構成されている。

それ以外にも中活室・まちづくり藤枝・商工会議所を通してご提案・ご意見をいただければ、そういった物を集約して今後の計画にまとめていきたいと考えている。

(小林議長)

皆様の考えやご意見を各組織を通じて上げていただければ、計画への検討材料とさせていただきます。

(秋原委員)

オーレ藤枝・アピタ・BiVi 藤枝・駅南商店街・てーしゃば実行委員会により、3月10日・11日の2日間、春に始めて「てーしゃばストリート105」を開催。また、3月10日には、市民の有志や若い奥様たちが企画したボンマルシェ藤枝を開催する。この「てーしゃばストリート」に、駅南地区活性化連絡会議が連携して行っているが、駅北でも活性化連絡会議を立上げ、生活支援・環境貢献の部会を編成し、商店街の空き店舗を活用した高齢者あるいは子育て中の若い人たちのために何か支援ができないかということ今年を考へて行きたい。構成員は、駅北の商店街・銀行・地元のまちづくりの団体などである。

最後に、改めて全体を通してご質問・ご意見等を求めたところ特になく、次期計画の策定方針・体制・スケジュールについて了承し、今後の協力をお願いし閉会とした。

